【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：2023 年　　4 月　　7 日

1．事業概要

（1）実行団体名：　更生保護法人ウィズ広島
（2）事業名：　　退所者フォローアップ支援
（3）事業実施期間：2020 年 3 月 1 9 日から 2023 年 3 月 31 日まで
（4）資金分配団体名：更生保護法人日本更生保護協会

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2）　内部通報制度は整備されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可）

☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ □ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
□ 自団体のウェブサイトで表示している ／ □ 広報制作物に表示している □ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している □ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	ウィズ広島 HP、ブログ、機関紙（ニュースレター）で広報。令和４年１２月２３日、オンラインで広島県、広島市、中国管内矯正施設等に広報。また、日本更生保護協会発行の「更生保護」令和４年８月号で広報した。
広報制作物等	無	
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

本事業（退所者フォローアップ支援）は、施設を退所した人の孤立を防ぐための直接的支援であり、地域の関係機関・団体等との連携を重視してこなかった。しかしながら、本事業を通じて関係機関・団体等との連携の重要さを認識したので、今後地域社会との連携に努めたい。

【添付資料】

＊　写真は、本事業（退所者フォローアップ支援）で中心的役割を果たした白倉弘子支援員。

自ら行う退所者への生活相談、電話、手紙による安否確認、交流に努め、ビンゴ/カフェにおいては主導的に関わり、またカウンセラー面接の調整にも尽力してきた。

事業は人なりというが、まさにこの言葉に相応しい人である。事業終了後も、引続き退所者フォローアップ支援員として務めている。

＊　ウィズカフェ（抹茶カフェ）の風景
＊　ウィズカフェの狙いは、施設を退所した人が、足を運びやすくするために月１回定期的に開催している。この写真は、毎月第３火曜日午後２時から始める抹茶カフェ。ボランティアの方が抹茶を立て、それを参加者がワイワイしゃべりながら楽しむ会となっている。

＊　抹茶カフェを支えてくださる地域のボランティアの方。参加者の中には、抹茶を“おいしい、おいしい”と言って５杯もお代わりする猛者もいる。

＊　ウィズカフェ（カフェシアター）の風景
＊　毎月第１日曜日の午後１時から開催している。参加者は、午後のひととき映画観賞で心の洗濯をする。上映作品の多くは、参加者のリクエストによる。

＊　ウィズカフェ（ビンゴ/カフェ）の風景
＊　毎月第４火曜日午後２時から開催している。参加者はプラスチック製のボーリングゲーム等に興じ、ビンゴゲームをしてロス食品、寄付物品を持ち帰る順番を決める。

＊　　切々と訴える退所者をおだやかに受容、共感するカウンセラー（公認心理師）。面接を受けた多くの人たちは、退室時おだやかな表情となっている。